

過去の不活潑から實力ある組合組織を作る爲に努力して来た、今日産業軍の本部は凡ての準備が完成した全力を盡して活動時代に入つたのである、従来の縣單位で立場を異にした運動を續けた事は遺憾であつた、近時社會民主主義の労働組合が共産主義者と提携して人民戦線を主張し更に資本家、協同會とも手を握り全面的な反ファツシヨ運動を展開してゐる、吾々は如何なる戦術を以て進む可きか、此等と對抗して進むべき方針を慎重に協議せよ。

- 7、歓迎の辭 福岡縣聯合會支部 野 崎 豊
- 8、答 辭 長崎縣支部 毛 利 某
- 9、資格審査委員會報告 委員長 米 村 長太郎
下藤、田川、門司、小倉、粕屋、八幡各支部三四名

本部關係者 一二名 計 四六名

10、祝辭電披露

○祝 電

- 報國産業労働同盟 愛國政治同盟本部
- 日本産業軍本部 長崎鐵工組合
- 長崎縣聯合支部 京都維新産業労働組合
- 長崎交通労働組合 九州愛國團體同志クラブ
- 外四通

○祝 辭

維新青年隊長 佐々木 武雄

日本の一大轉向期に於ける即ち國家改造の大きな役割をなす者はハンマ、鋸を持つ労働者である、日本改造戦線上に思想的な闘がある、日本産業軍の旗の進む所亡國的